

令和4年4月30日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 豆田 正明

令和3年度 赤穂市立海洋科学館の事業報告について

赤穂市立海洋科学館指定管理者管理運営基準に基づき、令和3年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



海洋科学館 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

開館日数 293日

区分	常設			展			特別			展			合		計
	入館料 (円)	入館人員 (人)	入館料収入 (円)	入館料 (円)	入館人員 (人)	入館料収入 (円)	入館料 (円)	入館人員 (人)	入館料収入 (円)	入館料 (円)	入館人員 (人)	入館料収入 (円)	入館人員 (人)	入館料収入 (円)	
個人	大人	200	5,988	大人	1,223	366,900	大人	300	1,197,600	大人	1,223	366,900	7,211	1,564,500	
	小中学生	100	1,659	小中学生	531	79,650	小中学生	150	165,900	小中学生	531	79,650	2,190	245,550	
30人以上	大人	160	4,072	大人	864	207,360	大人	240	651,520	大人	864	207,360	4,936	858,880	
	小中学生	80	1,795	小中学生	339	40,680	小中学生	120	143,600	小中学生	339	40,680	2,134	184,280	
100人以上	大人	120		大人			大人	180		大人					
	小中学生	60	368	小中学生		22,080	小中学生	90		小中学生			368	22,080	
個人 50%	大人	100	347	大人	72	10,800	大人	150	34,700	大人	72	10,800	419	45,500	
	小中学生	50	91	小中学生	5	375	小中学生	75	4,550	小中学生	5	375	96	4,925	
団体 30人以上50%	大人	80		大人			大人	120		大人					
	小中学生	40	1	小中学生		40	小中学生	60		小中学生			1	40	
団体 100人以上50%	大人	60		大人			大人	90		大人					
	小中学生	30		小中学生			小中学生	45		小中学生					
100%	大人		940	大人	123		大人			大人	123		1,063		
	小中学生		1,946	小中学生	479		小中学生			小中学生	479		2,425		
特別利用券利用者	大人			大人	26		大人			大人	26		26		
	小中学生			小中学生			小中学生			小中学生					
赤穂観光バスポート	通りやんせ		(@120×82)	通りやんせ	2	9,840	通りやんせ			通りやんせ	2		39	9,840	
合計	大人		11,384	大人	2,310	585,060	大人		1,893,660	大人	2,310	585,060	13,694	2,478,720	
	小中学生		5,860	小中学生	1,354	120,705	小中学生		336,170	小中学生	1,354	120,705	7,214	456,875	
	計		17,244	計	3,664	705,765	計		2,229,830	計	3,664	705,765	20,908	2,935,595	

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/25～5/11まで臨時休館。赤穂観光バスポートの入館料収入は、常設展にまとめて計上した。)

特別展、企画展等の開催

海洋科学館

特別展

期 間 令和3年7月21日(水)～8月30日(月)  
名 称 「身近な昆虫・植物のまるいものあつまれ！」  
内 容 世界の蝶、兵庫の昆虫、赤穂の昆虫や植物、さらには子ども  
たちが赤穂海浜公園で発見した昆虫、石、植物など「まるい  
もの」の中から選んだ「お宝」を展示  
入館者数 3,664人

塩の国 塩田案内人(ボランティア)による案内 延べ27回

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業

探鳥会

科学館の指導普及事業

(1) 運営協力会の開催

委員数 16名  
開催日 第1回 令和3年5月22日(土)  
第2回 令和3年6月12日(土)  
第3回 令和3年7月31日(土)  
第4回 令和4年2月12日(土)

(2) 科学教室の開催

名 称 「子ども科学教室」

内 容

	テ ー マ	開 催 日 時
第1回	塩の科学	7月3日(土) 9:00～12:00
第2回	天体観測	10月2日(土) 17:30～20:30
第3回	アリの世界	10月30日(土) 9:00～12:00
第4回	身近な自然観察	11月13日(土) 9:00～12:00
第5回	ミクロの世界	12月4日(土) 9:00～12:00
第6回	バードウォッチング	1月15日(土) 9:00～12:00
第7回	スターリングエンジン	2月12日(土) 9:00～12:00

指導者 海洋科学館運営協力会委員外

参加者 市内小学4年生～6年生 16名

(3) 夏屋台実験教室の開催

名 称 「サイエンス寺子屋」

開催日 8月1日(日)

内 容

NO	ブース(屋台)名
1	小鳥と話そう ～バードコール～
2	レーウェンフックの顕微鏡
3	カラフル! 人工イクラ
4	人と自然の博物館 アンモナイトをつくろう!
5	浮沈子 ～アクアマン～

スタッフ 海洋科学館運営協力会委員

協 力 兵庫県立人と自然の博物館、関西福祉大学生

参加者 市内小学4年生～6年生 35名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した事業

子ども科学教室(施設見学)

赤穂市立海洋科学館の管理運営に関する業務の収支決算書  
(令和3年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
海洋科学館管理収入	17,940,000	17,174,123	765,877	海洋科学館管理収入
施設利用料収入	2,601,000	2,935,595	△ 334,595	施設利用料収入
合 計	20,541,000	20,109,718	431,282	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	11,654,000	11,507,474	146,526	職員給 4人
福利厚生費支出	2,015,566	1,941,964	73,602	社会保険料外
小 計	13,669,566	13,449,438	220,128	
物件費				
消耗品費支出	223,500	221,072	2,428	特別展消耗品外
燃料費支出	50,000	32,462	17,538	ガソリン代
会議費支出	3,000	2,702	298	来客賄
印刷製本費支出	299,000	239,700	59,300	特別展ポスター印刷外
光熱水費支出	2,016,434	2,016,434	0	電気代外
修繕費支出	393,360	393,360	0	雨漏り補修外
飼料費支出	20,000	12,903	7,097	展示用魚餌代
通信運搬費支出	153,140	141,553	11,587	電話料外
保険料支出	65,000	54,140	10,860	自動車損害保険料外
委託料支出	2,748,000	2,747,642	358	清掃管理業務委託 1,061,280 展示備品管理業務委託 486,200 建物管理業務委託外 1,200,162
使用料賃借料支出	851,000	778,312	72,688	複写機使用料外
消耗什器備品費支出	25,000	0	25,000	事務備品
負担金支出	20,000	20,000	0	県博物館協会負担金外
雑費支出	4,000	0	4,000	諸雑費
小 計	6,871,434	6,660,280	211,154	
合 計	20,541,000	20,109,718	431,282	

赤穂市立海洋科学館指定管理者自主事業収支決算書  
(令和3年度分)

(単位:円)

収入

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館指導普及事業収入	80,000	16,000	64,000	子ども科学教室参加負担金
赤穂市補助金収入	670,000	487,610	182,390	科学館指導普及事業補助金
合 計	750,000	503,610	246,390	

支出

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館普及啓発事業費				運営協力会事業 175,187 子ども科学教室事業 168,347 夏屋台実験教室 160,076
旅費交通費支出	34,000	0	34,000	
消耗品費支出	133,000	90,188	42,812	教材外
会議費支出	60,000	58,306	1,694	ボランティア賄外
印刷製本費支出	14,000	13,300	700	子ども科学教室記録写真プリント代
通信運搬費支出	16,000	15,916	84	郵便料
保険料支出	29,000	11,900	17,100	ボランティア保険料外
委託料支出	150,000	0	150,000	
使用料賃借料支出	99,000	99,000	0	移動博物館車「ゆめはく」借上料
諸謝金支出	215,000	215,000	0	講師謝礼外
合 計	750,000	503,610	246,390	

## 令和3年度 指定管理者管理運営事業評価シート

### 1 評価対象施設

公の施設の名称		赤穂市立海洋科学館					
所在地		赤穂市御崎1891番地4					
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団		指定期間	開始日	令和3年4月1日	
	所在地	赤穂市中広864番地			終了日	令和6年3月31日	
選定方法		公 募 ・ <u>非公募</u>		評価実施年	指定期間3年のうち1年目		
施設設置目的		海洋科学に関する知識の普及及び啓発を図り、市民の科学教育の向上に資するため					
主な実施事業		(1) 海洋科学に関する資料、機器及び装置を収集し、展示し、及び利用に供すること。 (2) 海洋科学に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。 (3) 展示する資料、機器及び装置に関する調査研究すること。 (4) 学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (5) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業					

### 2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	目標	R3	目標	R4	目標	R5
a	利用者数	人	30,000	20,908	30,000		30,000	
b	稼働率	%		70				
c	受講者数							
d	参加者数							
e								

### 3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		令和3年度決算	令和4年度予算	令和5年度予算	
収入計		A	20,613,328	21,430,000	21,624,000
指定管理料			17,174,123	15,930,000	16,040,000
利用料収入		C	2,935,595	4,830,000	4,834,000
自主事業収入			503,610	670,000	750,000
その他			—	—	—
支出計		B	20,613,328	21,430,000	21,624,000
事業費			20,109,718	20,760,000	20,874,000
内、人件費		D	13,449,438	13,781,000	13,775,000
内、再委託料		E	2,747,642	2,774,000	2,872,000
自主事業費			503,610	670,000	750,000
事業収入		A-B	0	0	0
利用料比率		C/A	14 %	23 %	22 %
人件費率		D/B	65 %	64 %	64 %
再委託費比率		E/B	13 %	13 %	13 %

・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。  
 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に則し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		事業計画に則し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令順守	法令・条例等に基づき、必要な点検・報告を行っている。	B	B
	外部委託	外部委託に際し、適切に業者を選定し、業務指導を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する条例を順守し事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	B	B
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	【業務の実施体制】に関する評価】	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に則し、必須事業を実施している。	B	A
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	A
	維持管理	管理運営基準等に従い、施設の維持管理を適切に行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。		B	B	
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	各種提案事項について、市と協議し、検討を行っている。	B	A	
利用状況	利用者数等は、目標に対し妥当な水準である。	B	C	
総括	【業務の内容・水準】に関する評価】	B	B	
③ 安定性	経理事務	適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	B	B



所見 (成果、課題等)	<b>【自己評価】</b> コロナウイルスの影響により入館者数は目標値の7割であったが、兵庫県の対処方針に基づく「マスクの着用・手指消毒・飛沫対策など」感染防止対策の徹底、さらには抗菌抗ウイルス剤を塗布するなど安全対策を実施することにより施設の利用増進に努めている。 施設・設備面に関しては、エレベーターが無いため入館者から不満の声が多く、早期の実施が必要である。 また、展示機器に関しては老朽化による不具合が頻繁に発生しており、修繕料を確保するとともに、新規機器への更新が急がれる。		
	<b>【所管評価】</b> 4月当初に臨時休館するなど、新型コロナウイルス感染症の影響が続き来館者は大きく減少している。兵庫県の対処方針に則った感染防止対策の徹底や特別展の実施により利用者の増に向けて取り組んでいる。 今後とも来館者の安全確保に努めながら、日本遺産「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂を、塩の国とともに情報発信に努め、魅力発信に努められたい。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。